

山形新聞

2019年(平成31年)2月21日(木曜日)

県内就職で意見交わす

山形大顧問会議 卒業生の状況説明

県内経済関係者や自治体の首長らによる山形大の顧問会議が20日、山形市の山大小白川キャンパスで開かれた。学生の県内就職状況について意見を交わし、大



学の情報発信や地域企業との連携推進、県内高校からの入学者拡大といった取り組みの重要性を確認した。写真。

山大は卒業生の就職状況について、県内への就職は全体の3割弱だが、県内出身者に限ると6〜7割に上ると説明。地域の中で行う体験型プログラムなど本県に理解を深める教育を展開し「県内で就職する意欲など地域への関心が高まっている」とした。

工、農学部からの県内就職率の低さや、県内からの入学が伸び悩んでいることが課題とされ、顧問は「山

大の魅力を伝えるための情報発信が重要」などと対応を求めた。少子化や人口減少を踏まえ「中高年向けに新しい技術を教育する方法もある」との提案もあった。出席者は次の通り。

安房毅 県中小企業団体中央会
長、川崎礼子ル・ペール蔵王社
長(やまがた女将会長)、佐藤俊
一 山形東高校長(県高校校長会
長)、佐藤博之 県PTA連合会長、
清野伸昭 山形パナソニック会長
(県商工会議所連合会長)、土田
秀也 土田医院理事長、中川勝米
沢市長、長谷川吉茂 県銀行協会
長、松村英一 県工業会長、皆川
治鶴岡市長、若松正俊 副知事
(三浦光晴)